

I ともに支える 健やかに暮らせるまち <健幸・福祉>

带状疱疹ワクチンの定期接種開始

(子育て・健幸課)

新規

(22,639 千円)

令和7年度からの带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、接種の推進を図るため、以下の自己負担額となるよう接種費用の一部を公費で負担する。

◆ 対象者

- ①年度内に65歳になる方
- ②年度内に70・75・80・85・90・95・100歳になる方
(令和7年度から令和11年度までの経過措置)
- ③100歳以上の方(令和7年度のみ)
- ④60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方

◆ 接種期間

令和7年4月1日～

◆ 接種回数及び自己負担額

| ワクチンの種類 | 接種回数 | 自己負担額 |
|-----------|------|----------|
| 生ワクチン | 1回 | 3,000円/回 |
| 組み換えワクチン※ | 2回 | 7,000円/回 |

※ 2回接種が必要

戦後80年記念事業の実施

(福祉課)

新規

(136千円)

令和6年に非核平和都市宣言を行い、令和7年は戦後80年という節目を迎え、平和への願いや原爆について考える契機として、令和7年夏に不二羽島文化センターにおいて、被爆体験伝承者(※)による講話やパネル展示を実施する。

※ 被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思いを伝承する方

病院事業会計への繰出金

(市民病院総務課)

拡充

(969,080千円)

[前年度当初予算比+180,467千円]

地域医療提供体制を確保するため、病院事業会計に繰出基準(※)に基づく費用の全額を繰り出す。

※ 一般会計が負担すべき経費として国が示す基準

【病院事業会計】

- ・ 経営の安定化を図るための経営診断の実施 9,988千円
(R6補正予算において債務負担行為済)

ともに拓く 学び育むまち <子育て・学修> (1)

中学校の給食費無償化

(学校給食センター)

新規

(148,952千円)

教育費負担が大きくなる傾向のある中学生の保護者の経済的負担を軽減するため、令和7年4月から中学校の給食費を無償化する。

◆ 1食あたりの給食費・負担額

| | R6年度 | R7年度 |
|-------|------|------|
| 中学校 | 360円 | 406円 |
| 市補助 | 70円 | 406円 |
| 保護者負担 | 290円 | 0円 |

南部学校給食センター空調設備の整備

(学校給食センター)

新規

(110,141千円)

南部学校給食センターにおける職場環境の改善等を図るため、令和8年度の稼働開始を目途として、調理室・洗浄室に空調設備を整備するとともに、必要となる電気容量を確保するため、高圧受電設備を改修する。

・ 総事業費(R7~8年度):205,833千円

小学校等の給食費値上げ分への補助

(学校給食センター)

拡充

(68,880千円)

※ 中学校分は「中学校の給食費無償化」に計上

物価高騰の影響が続く中で、学校給食の質と量を確保しつつ、保護者の経済的負担を抑制するため、給食費を増額しつつ、保護者負担が令和5年度と同額になるよう補助する。

◆ 1食あたりの給食費・負担額

| | R6年度 | R7年度 |
|------------|------|------|
| 小学校 | 310円 | 350円 |
| 市補助 | 60円 | 100円 |
| 保護者負担 | 250円 | 250円 |
| 幼稚園(西部幼稚園) | 300円 | 340円 |
| 市補助 | 60円 | 100円 |
| 保護者負担 | 240円 | 240円 |

学校体育館等空調設備整備の調査

(教育政策課)

新規

(3,673千円)

児童生徒の教育環境の充実等を図るため、災害発生時に避難所としても利用される小中学校の体育館・武道場(18施設)について、空調設備の整備方針の策定に向けて必要となる調査を実施する。

こども誰でも通園制度の実施

(子育て・健幸課)

新規

(3,115千円)

0歳6か月から満3歳未満の未就園児が月一定時間利用できる「こども誰でも通園制度」について、令和8年度からの本格実施に向けて、令和7年10月開始を目途として補助制度を整え、市内保育園等において先行して実施する。

◆ 1時間あたりの負担額(月10時間が上限)

| 年齢 | 保護者負担 | 市補助 |
|----|-------|--------|
| 0歳 | 300円 | 1,300円 |
| 1歳 | 300円 | 1,100円 |
| 2歳 | 300円 | 900円 |

適応指導教室の増設

(学校教育課)

新規

(9,223千円)

適応指導教室については、市中心部にある福祉ふれあい会館内に「こだま」、北部地域にある小熊小学校内に「のぞみ」が開設されている中で、近年増加している不登校児童生徒(※)への支援体制を強化するため、令和7年9月開始を目途として、南部地域にある中島中学校内に適応指導教室を増設する。

※ 不登校児童生徒数 R元:94人→ R5:201人(+107人)

休日の中学校文化部活動の地域移行

(学校教育課)

新規

(3,528千円)

質の高い多様な文化芸術活動の機会の確保を図るため、令和7年1月から試行的に実施している休日の中学校文化部活動の地域移行について、令和8年度以降の全面移行に向けて取組を進める。

令和7年度に移行 :美術、茶華道

令和8年度以降に移行:英会話、合唱、吹奏楽、パソコン

AI英会話学習アプリの導入

(中学2・3年生)(学校教育課)

新規

(3,126千円)

英語教育において生徒一人一人が個別最適な学びができる環境を整えるため、中学2・3年生を対象にAI(人工知能)英会話学習アプリを令和7年5月を目途に導入する。

音声生成機能がついたアプリを導入することで、学んだ表現を使ったAIとの会話や発音の瞬時評価が可能となり、特にリスニング力やスピーキング力の向上を図る。

桑原揚水機場における水門の改修
(農政課)

新規

(8,874千円)

令和6年5月の大雨により浸水した桑原揚水機場の防災対策を強化するため、堤防内(地中)の水門を改修する。

SDGs推進融資の拡大
(商工観光課)

拡充

(9,000千円)

[前年度当初予算比+2,000千円]

SDGs(※)の達成に向けた取組の更なる推進を図るため、市内金融機関と連携して実施しているSDGs推進融資制度について、対象件数・予算額を拡充する。

※「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

第42回全国都市緑化ぎふフェア
への出展(農政課)(総合政策課)

新規

(363千円)

緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とした国内最大級の花と緑の祭典である「全国都市緑化フェア」が岐阜県で初めて開催されるにあたり、本市のPRパネル及び植栽コンテナの設置、地域自慢PRステージ出演を実施する。

- ◆ 開催時期
令和7年4月23日～6月15日
- ◆ 会場
ぎふワールド・ローズガーデン、岐阜県百年公園 等

桑原揚水機場(水門)



ぎふ・グリーン・ライフ
フェスティバル 2025
Gifu Green Life Festival 2025

消防緊急通信指令施設の更新

(救急指令課)

新規

(416,190千円)

令和8年度の運用開始を目途として、緊急通報(119番)を受信し、災害発生場所の特定、消防隊の出動指令等を行う消防緊急通信指令施設を更新する。(更新にあたり、映像通報システム(※)を導入)

※ 119番の通報者のスマートフォン等の機能を使い、災害現場等の映像を消防に送信するシステム

組立式給水タンクの購入

【水道事業会計】(工務課)(経営課)

新規

(2,175千円)

災害等による断水時における給水活動を効果的・効率的に行うため、組立式給水タンク3基を購入する。(給水車と給水タンクの双方を使い分けることで、非常時においても、迅速に安全で衛生的な水の供給を実現)

内水ハザードマップの作成・配布

(危機管理課)

新規

(6,446千円)

激甚化・頻発化する水害への危険性を周知し、対策の促進を図るため、内水氾濫(※)による浸水想定区域や浸水する深さ等を明示したハザードマップを作成・配布する。

(既存の桑原川の洪水ハザードマップについても更新・配布)

※ 豪雨や長時間降雨の際に、堤防から水があふれていなくても河川へ排水する下水路や道路側溝等が水を処理しきれなくなり発生する浸水害

岐阜羽島衛生施設組合ごみ処理

施設建設費負担金(生活環境課)

拡充

(362,820千円)

[前年度当初予算比+215,063千円]

令和9年4月の稼働開始に向けて整備を進めている次期ごみ処理施設の建設費負担金を、同事業を実施する岐阜羽島衛生施設組合に支出する。

立地適正化計画の作成、都市計画 道路網見直しの検討(都市計画課)

新規

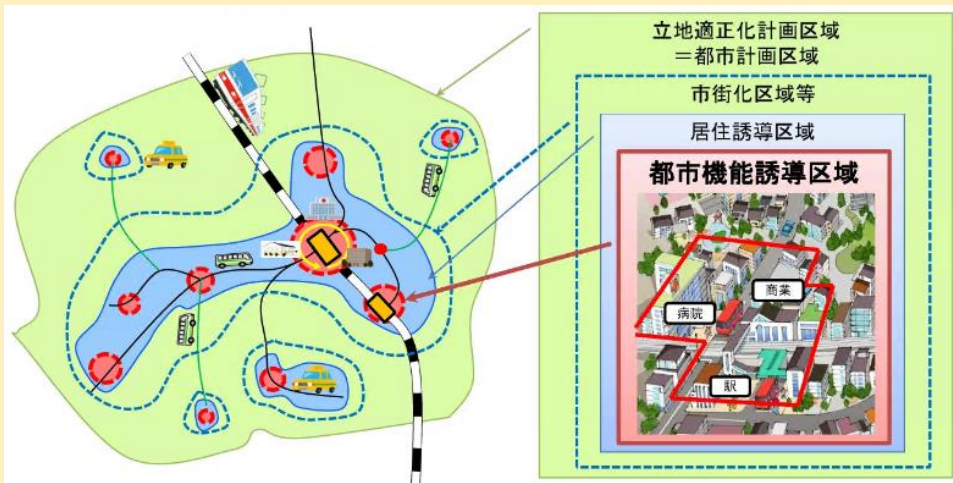
(22,124千円)

都市を取り巻く状況や上位・関連計画等との整合を図りつつ、本市のあるべき都市の姿を見つめて計画的なまちづくりを進めるため、立地適正化計画(※)を作成するとともに、都市計画道路網見直しの検討を行う。

- ・立地適正化計画の作成(1年目) 12,133千円
- ・都市計画道路網見直しの検討 9,991千円

※ 持続可能な都市構造への再構築を目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するためのマスタープランであり、市町村が必要に応じて策定する計画

立地適正化計画イメージ



平方第二土地区画整理事業地内公園 の整備(都市計画課)

新規

(25,000千円)

レクリエーション空間や良好な都市景観の形成を図るため、平方第二土地区画整理事業の進捗に合わせて、当該事業地内で整備を進めている次期ごみ処理施設の隣接地に公園を整備する。

新生2号橋の修繕 (土木監理課)

新規

(35,774千円)

老朽化が進行している新生2号橋(新生町に設置)について、長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図るため、修繕を実施する。

VI 持続可能なまちづくりを支える考え方

ノーコードツールの導入

(総務課)

新規

(927千円)

事務処理の効率化や手続き負担の軽減を図るため、専門知識がなくとも、職員自らが簡単にアプリを作成できるノーコードツール(※)を導入する。

※ 日付、申請者情報等の任意の項目について、マウス操作(ドラッグアンドドロップ)や簡単な入力を行うことで、業務に必要なアプリケーションを自由に作成できるツール

【アプリの例】

- ・ 市営斎場予約管理 等

公共施設等の照明設備LED化

(生活環境課)(教育政策課)

新規

(7,270千円)

「蛍光灯等照明器具の生産終了(2027年末)」や「電気料金の削減」、「温室効果ガスによる地球温暖化」への対策を図るため、公共施設等の照明設備のLED化を進める。

- ・ リース方式(市民会館等) 3,500千円
(債務負担行為 R8~17年度 207,149千円)
- ・ 工事設計(4小学校) 3,770千円
【R6補正予定】
- ・ 工事請負(各中学校・国庫補助金を活用) 237,838千円

公共施設共同予約システムの追加

(不二羽島文化センター)(生涯学習課)

新規

(6,309千円)

不二羽島文化センターの予約システム更新を控える中で、利便性の更なる向上を図るため、令和7年10月を目途に、岐阜県及び共同調達する県内市町村における公共施設の予約や空き状況確認ができる公共施設予約管理システムに移行する。

(令和6年度に市スポーツ施設等において導入済)

旧教育センター・旧いきいき元気館・

旧老人福祉センターの解体設計(施設所管課)

新規

(21,438千円)

老朽化等により用途廃止した旧教育センター・旧いきいき元気館・旧老人福祉センターについて、解体に係る設計業務を委託する。

- ・ 旧教育センター(管財課) 11,931千円
- ・ 旧いきいき元気館(福祉課) 4,935千円
- ・ 旧老人福祉センター(高齢福祉課) 4,572千円